３年　４組　学級通信

Full Swing

第３１号（R4. 10.4）
文責：藤田 遼

合唱コンクール、感想（続き）です！

○本番は初めての文化ホールで緊張しましたが、エンジンを作って盛り上げてくれたクラスメート達をみて、頑張ろうと思うことができました。
○実行委員の二人には本当にありがとうの気持ちでいっぱいです。二人とも遅くまで残ってがんばっていてすごいなと思いました。
○最初のころ、まとまることすらできなかった自分たちがここまで成長できたことから本気で練習に取り組むこと、力を合わせて協力することの大切さを学びました。
○最初、練習に自分がついていけないときに、みんなが丁寧に教えてくれてたくさんサポートしてくれて嬉しかった。
○３－４の合唱を本番で届けられるか心配でしたが、各パートのパートリーダーを中心にクラスがだんだん一つになっていくのを感じました。
○初めての学年練習で自分たちのひどさを知って、そこから気合を入れていったと思います。だんだんみんな声が出ているのが分かりながら歌うのがとても楽しかったです。
○群青の歌詞にある「当たり前が幸せと知った」という言葉には、今３年間コロナでいろんなことが制限されてきたので、本当にそのとおりだと思った。

○合唱を終えて、自分はやり切ったと思えたし、皆もそうだったでしょう。結果は悔しかったですが、自分の中では４組が優勝だと思っていました。

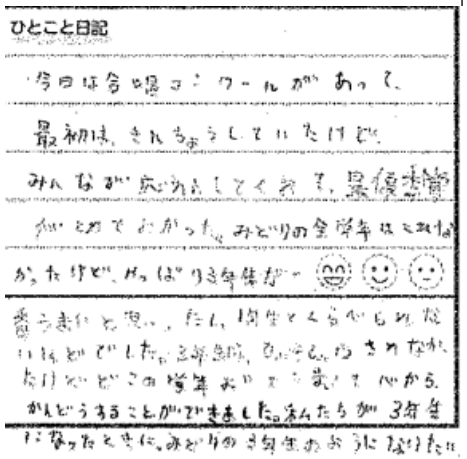
○今振り返ると、本番までたくさんの人達に支えてもらっていたことがよくわかります。そもそも合唱は一人ではつくれないし、クラスの掲示物も手伝ってもらったりとみんなにありがとうと伝えたいです。
○一緒に歌いたかったメンバーの分もがんばれたと思う。
○教室で最後に群青を練習したときに、自分たちが歌っているのに、鳥肌が立ち心が動かされました。植木先生も泣いて感動してくれて、あの時の集中力、クラスの一体感は忘れられません。
○中学校生活最後の合唱コンを市民会館で歌えて本当によかったです。本番が一番いい合唱だったと思います。
○最優秀賞を獲ることはできなかったけど、この仲間で合唱ができてよかったなと思いました。
○最高の合唱コンクールだった。今後は、今回でより一層深まったクラスの絆をいろいろなところで生かしていきたい。
○３年間を思い返してみると、いろんな思いがぶつかって、またさらに絆が深まってきたので、次は卒業式で、保護者全員を泣かせるつもりでがんばります。

○本番はなぜかとても歌いやすくて、何より自然と笑顔になるくらい楽しかったです。

みんなの熱意は届いている…！！

右に示しているのは、１年生のある生徒が書いたやり取り帳の内容です。

今日は、合唱コンクールがあった。最初は緊張していたけど、みんなが応援してくれて、最優秀賞をとれてよかった。緑の全学年は（賞を）取れなかったけど、**やっぱり3年生が一番うまいと思ったし、1年生と比べられないほどでした。どの学年よりもうまくて、心から感動することができました。私たちが3年生になったときに、緑の3年生のようになりたい。**


ひとこと日記
今日は合唱コンクールがあって、
最初は、きんちょうしていたけど、
みんなが応援してくれて、最優秀賞
がとれてよかった。みどりの全学年はとれな
かったけど、やっぱり3年生が一
番うまいと思った。たしかに、1年生と比べられな
いほどでした。3年生は、ひとりひとりの
力がどこの学年よりもうまくて、心から
感動することができました。私たちが3年生
になったときに、みどりの3年生のようになりたい

ある先生が、大運動会のときに述べていました。

「３年生は後輩が越えられないほどの高い壁を作り、後輩はその壁を越えていく。そして、伝統が作り上げられていく」

まさに、今回の合唱コンクールで体現できたのではないかと思う１年生の日記でした。

裏面に、明日の駅伝大会への意気込みがありますので、そちらもチェックしてください！

個人情報保護の点から、本通信を他者に配布等はなされないようお願いします。